

西国立駅周辺地区 まちづくり構想 策定に向けた 意見交換会（第1回）

日時：令和2年7月24(金)・7月27日(月)

場所：たましんRISURUホール 第一会議室

立 川 市



次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 市からの説明
 - (1) 意見交換会の目的
 - (2) 連続立体交差事業について
 - (3) まちづくり構想のイメージ
 - (4) 既存の計画について
 - (5) 地区の現況
4. 意見交換
5. 今後の予定について
6. 閉会



1 開会



2 挨拶

3 市からの説明

- (1) 意見交換会の目的
- (2) 連続立体交差事業について
- (3) まちづくり構想のイメージ
- (4) 既存の計画について
- (5) 地区の現況

(1) 意見交換会の目的

○意見交換会の目的

- ・ 東京都では、ＪＲ南武線の矢川駅から立川駅間を連続立体交差事業の準備中区間として、事業化に向けた検討を進めています。
- ・ 市では、連続立体交差事業を見据え、西国立駅周辺の踏切が除却された後のまちの将来像を示す「西国立駅周辺地区まちづくり構想」を策定する予定です。
- ・ 本日は、連続立体交差事業の概要や市が認識している地域の現況をご説明するとともに、まちづくり構想の策定に向け、地域の皆様が考えるまちづくりへの期待や課題等について意見交換をしていきたいと思います。

(2) 連続立体交差事業について

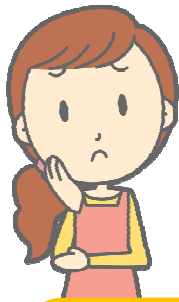
○西国立駅付近の現状

踏切遮断によりいろいろな問題があります。

交通渋滞の発生
(排気ガス・騒音)

消防・救急活動
の阻害

事故の危険性



問題解決のためには、
鉄道を高架化・地下化して踏切を一挙に除却する
連続立体交差事業が効果的です

7

(2) 連続立体交差事業について

○連続立体交差化の構造（事業のイメージ）

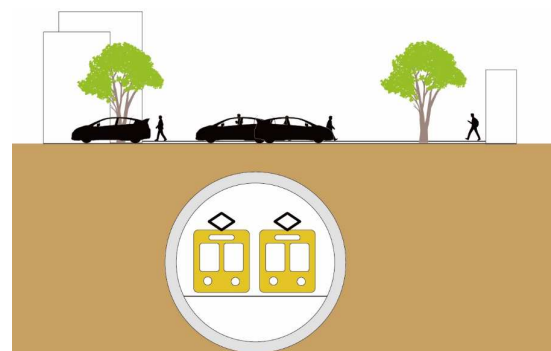
鉄道を連続して高架化もしくは地下化することで、踏切を除却して、鉄道による地区の分断を解消します。

事業後は、高架下または鉄道跡地の一部をまちづくりに活用することもできます。

高架式



地下式



8

(2) 連続立体交差事業について

○事業による効果

・踏切をなくすことで交通渋滞の解消

連続立体交差事業で数多くの踏切を同時に無くすことで、渋滞が解消されます。

▶たとえば・・・

渋滞がゼロに！！

鉄道高架化で780mあった渋滞が解消
(京急蒲田駅付近)



高架前



高架後

平均走行速度が2倍に！

西武池袋線 練馬高野台～大泉学園駅間

高架前

10.2km/h



高架後

21.5km/h



出典：連続立体交差事業のストック効果 東京都建設局 9

(2) 連続立体交差事業について

○事業による効果

・歩きやすさや道路の交通機能の向上

▶アンケートによると・・・

安全・安心を実感



JR 埼京線 十条駅付近

緊急出動時の移動が
スムーズになった

90.4%



回答者数 / 115人

西武池袋線 石神井公園駅付近
地元の消防署員へのアンケート調査結果

救急車が **after**
すぐに来るとい
う安心感が高まった

86.0%



回答者数 / 358人

西武池袋線 石神井公園駅付近
踏切があった場所における地元の方々へのアンケート調査結果

子どもや **after**
お年寄りの移動が
安全になったと思う

87.3%



回答者数 / 173人

(2) 連続立体交差事業について

○事業による効果

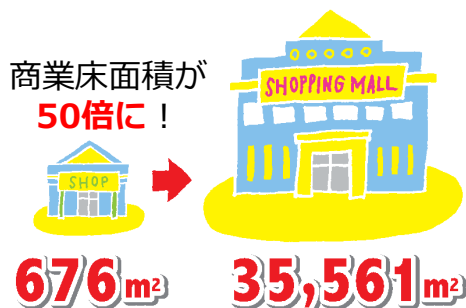
・まちの活性化

連続立体交差事業を契機に駅前の都市基盤等の整備が進み、まちのにぎわいづくりに貢献します。

▶たとえば・・・

お店が増えて賑わいUP！！

京成押上線 京成曳舟駅付近



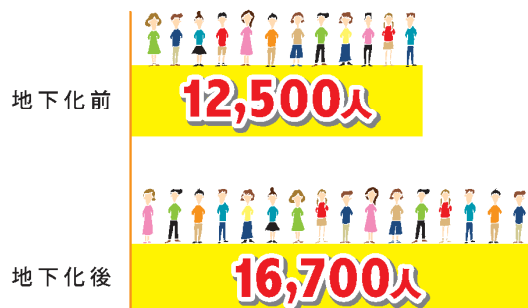
高架前

高架後

出典：連続立体交差事業のストック効果 東京都建設局

**回遊性の向上により
駅周辺を歩く人が30%UP！**

小田急小田原線 下北沢駅付近



下北沢駅前の旧東北沢6号踏切における
歩行者・自転車の横断者数

11

(2) 連続立体交差事業について

○事業による効果

・鉄道立体化により新しい空間が生まれます

高架下などを利用して子育て支援施設、医療・福祉施設等の
利便施設が整備されることで、まちが便利になります。

高架下の活用例



保育所 西武池袋線



デイサービス 小田急小田原線



サイクルシェア施設 JR中央線



図書館受付窓口 西武池袋線

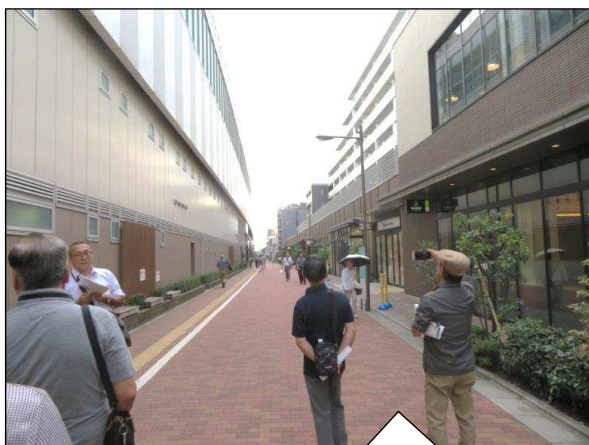
出典：連続立体交差事業のストック効果 東京都建設局

12

（２）連続立体交差事業について

○事業に伴うまちづくりの事例 ～石神井公園駅～

連続立体交差事業と併せてまちづくりが進められています。



鉄道側道は歩行者中心のおしゃれな空間になりました

沿道には商業施設や飲食店などが新たにできました



（２）連続立体交差事業について

○事業に伴うまちづくりの事例 ～石神井公園駅～

連続立体交差事業と併せてまちづくりが進められています。



- 駅前開発や駅前広場整備により、魅力的でゆとりある空間が整備されました
- 駅の両側でまちづくりが進み、駅を中心として賑わいが生まれています

(3) まちづくり構想のイメージ

○まちづくり構想の目的と対象

■ 構想の目的

連続立体交差事業を契機としたまちの活性化、魅力づくりのため、市と地域の皆様の協働で進めるまちづくりの指針とする

■ 構想の対象想定区域

西国立駅を中心に、幹線道路で囲まれた区域



15

(3) まちづくり構想のイメージ

○まちづくり構想の構成

以下のような構成を想定しています

1 まちの将来像：

目指すべきまちの姿を示します

2 分野別の方針：

まちの将来像を実現するため、3つの分野毎に取組みの方針を定めます

土地利用

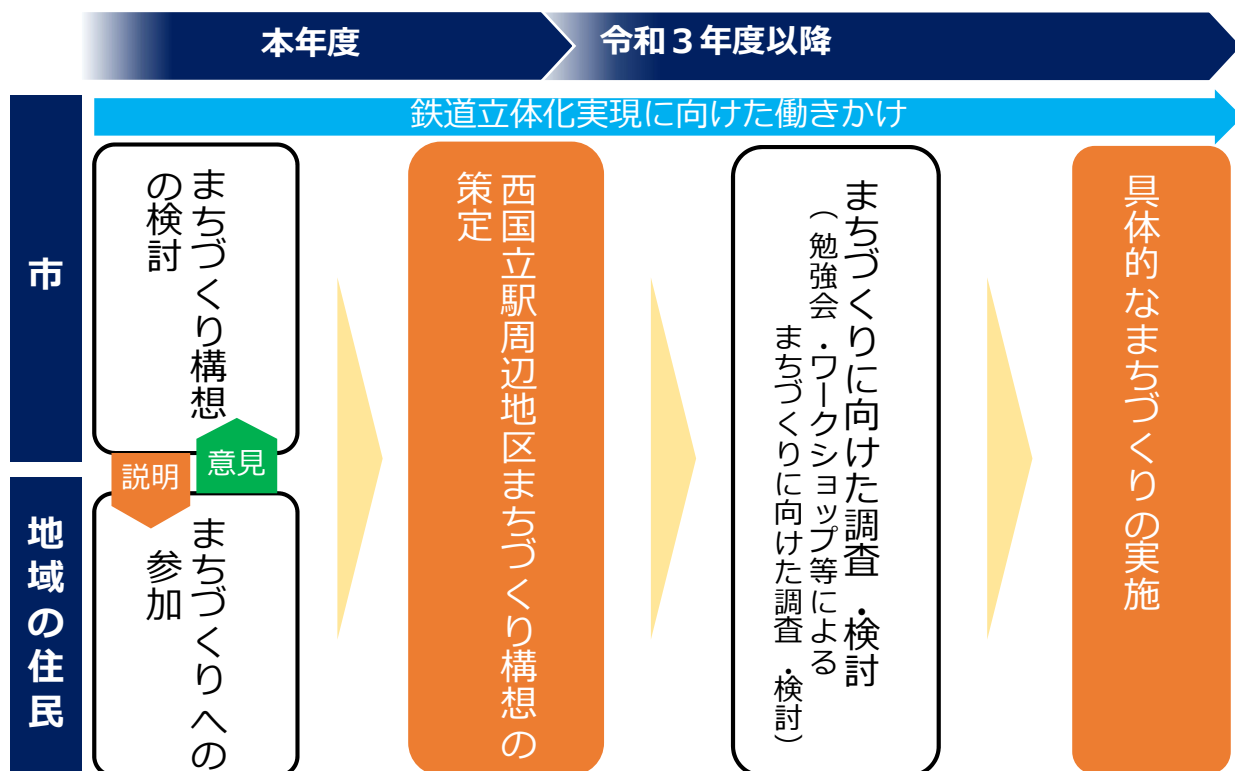
道路・交通

緑・景観

16

(3) まちづくり構想のイメージ

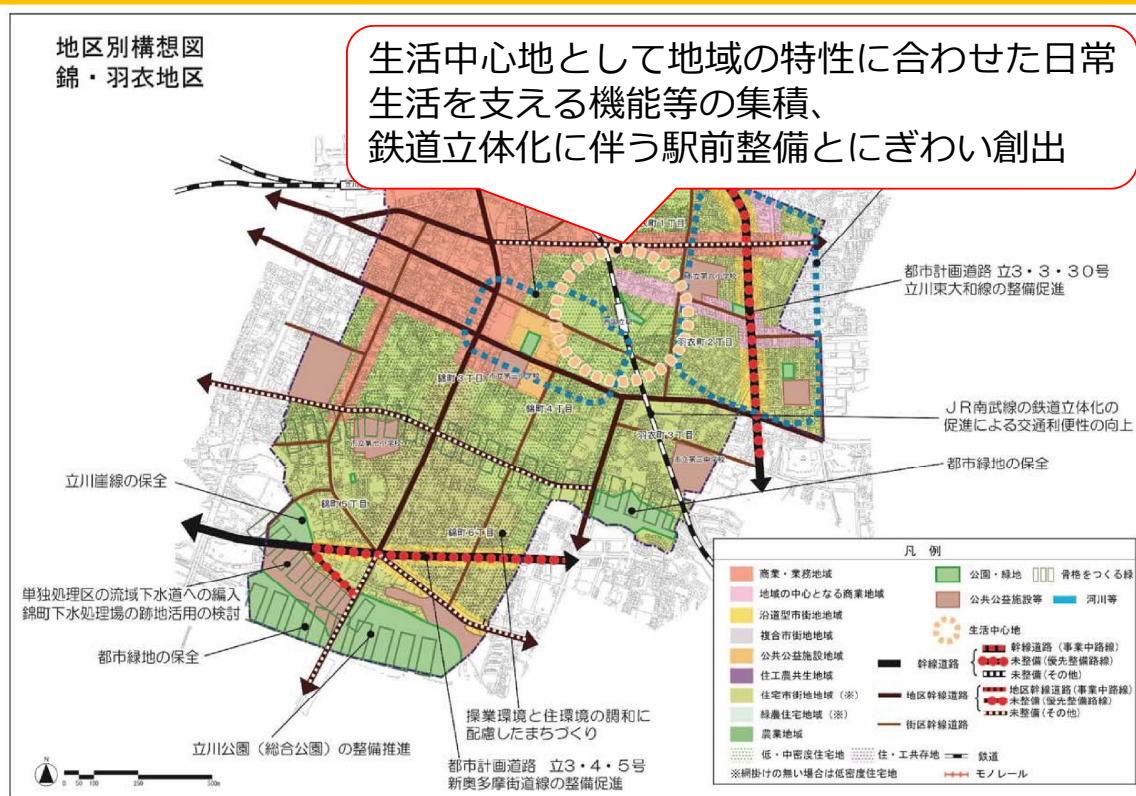
○まちづくり構想の実現に向けた取り組み



17

(4) 既存計画における位置づけ

○立川市都市計画マスタープラン（平成29年6月改定）

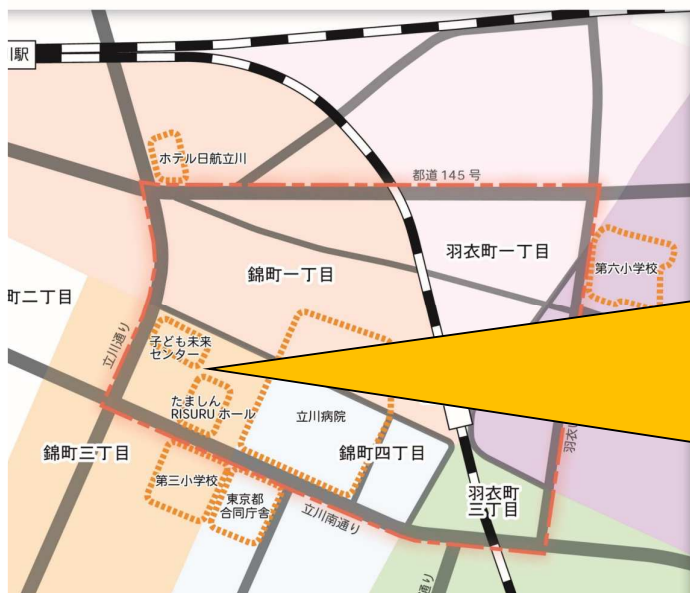


18

(5) 地区の現況

○西側地区

- ・旧市役所本庁舎と市民会館は、子ども未来センターとたましんRISURUホールとしてリニューアルされ、多くの市民に利用されている。

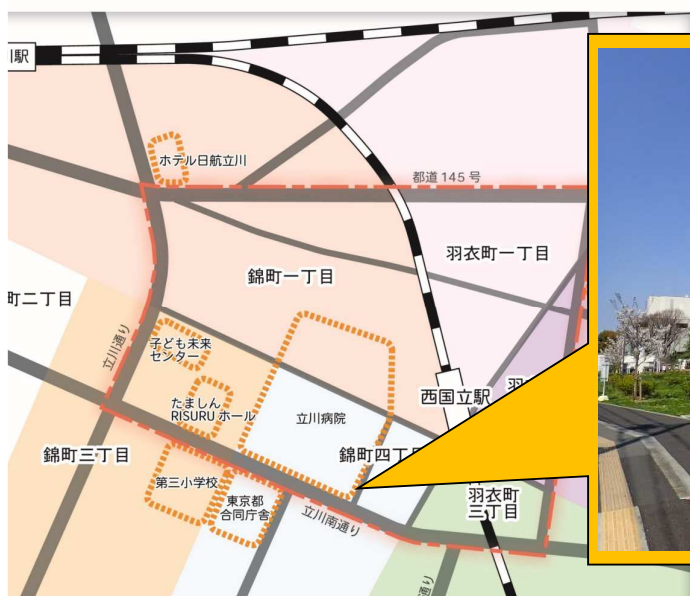


19

(5) 地区の現況

○西側地区

- ・立川病院の新棟建替えが行われた。



20

(5) 地区の現況

○西側地区

- ・やすらぎ通りの拡幅整備により、安全・快適な歩行者・自転車空間が創出された。

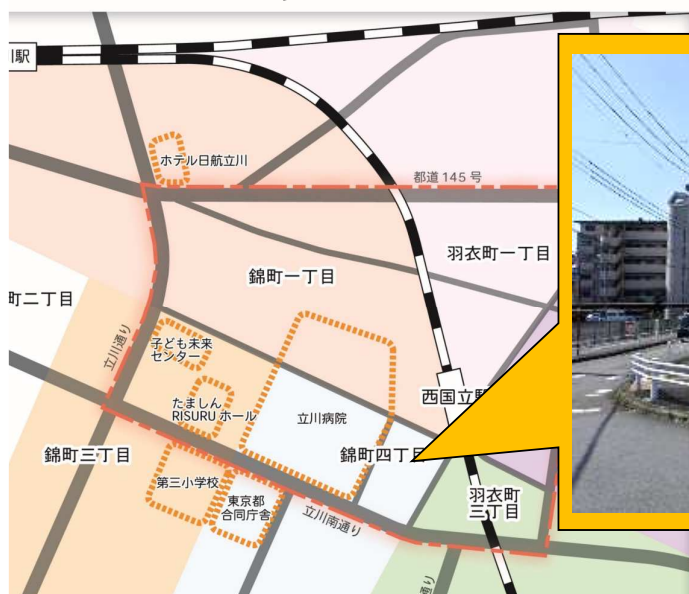


21

(5) 地区の現況

○西側地区

- ・駅前に未利用地が広がっている。
- ・駅周辺の賑わいが少ない（お店などが少ない）
- ・駅周辺の歩道が狭い。

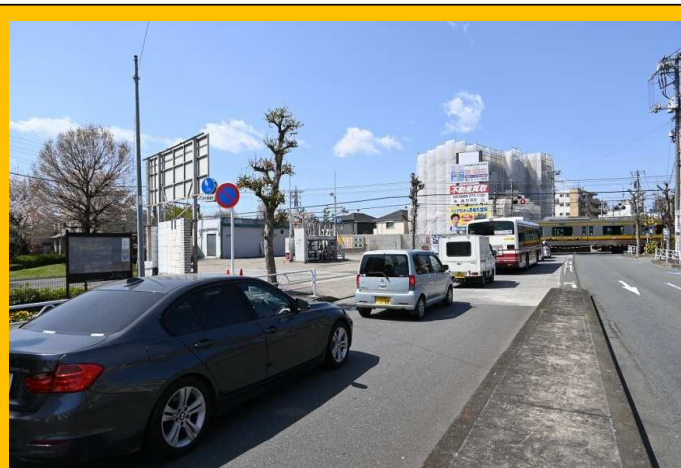


22

(5) 地区の現況

○踏切箇所

- ・踏み切りが地域の交通を阻害している（渋滞の発生、バスの定時運行及び緊急車両の通行の阻害等）

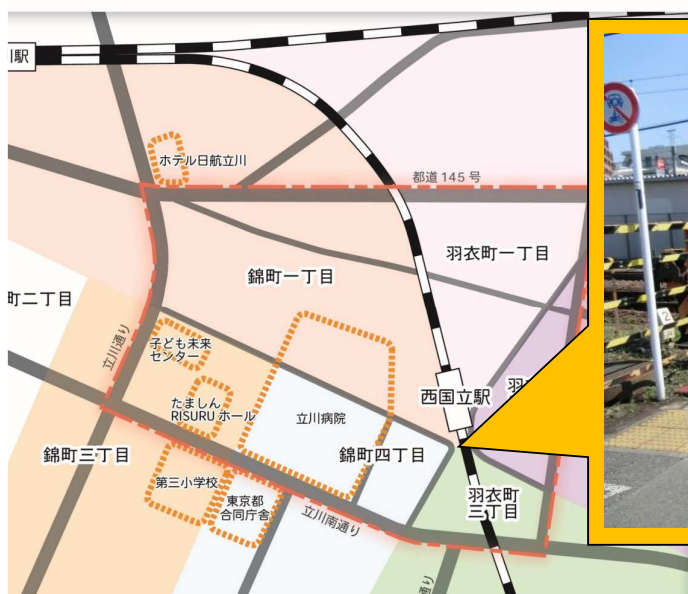


23

(5) 地区の現況

○踏切箇所

- ・駅南側の踏切は、自転車・歩行者のみ通行可能となっている。

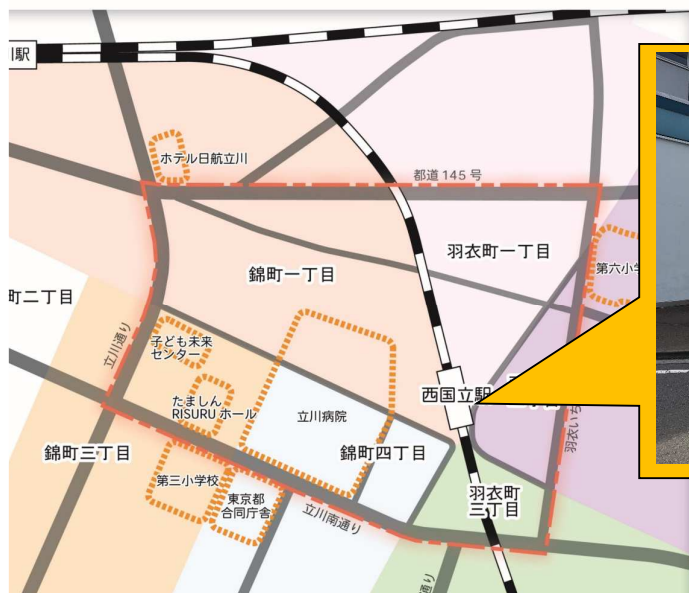


24

(5) 地区の現況

○西国立駅前

- ・駅前広場がなく、自動車の乗降が道路上で行われている。
- ・駅利用者が憩い集えるスペースが十分でない。



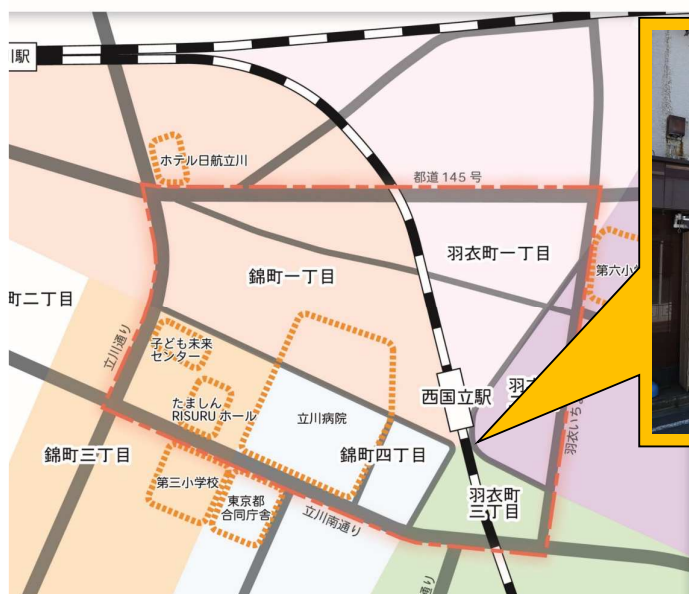
25

(5) 地区の現況

○東側地区

- ・低層戸建て住宅と大型マンション等の集合住宅、商店、墓地が混在して立地している。

①駅前に並ぶ商店



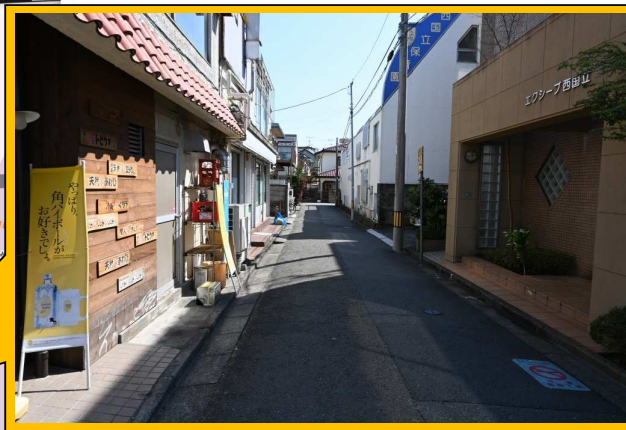
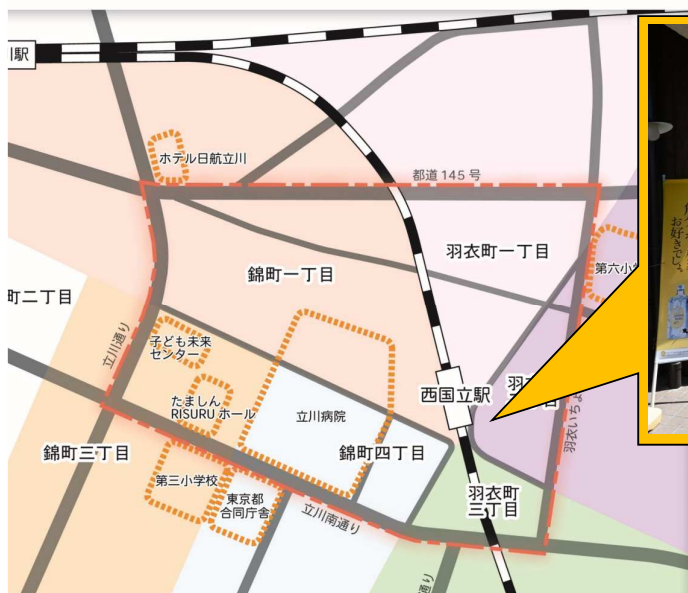
26

(5) 地区の現況

○東側地区

・低層戸建て住宅と大型マンション等の集合住宅、商店、墓
地が混在して立地している。

②駅周辺の低層戸建て住宅、集合住宅、飲食店等



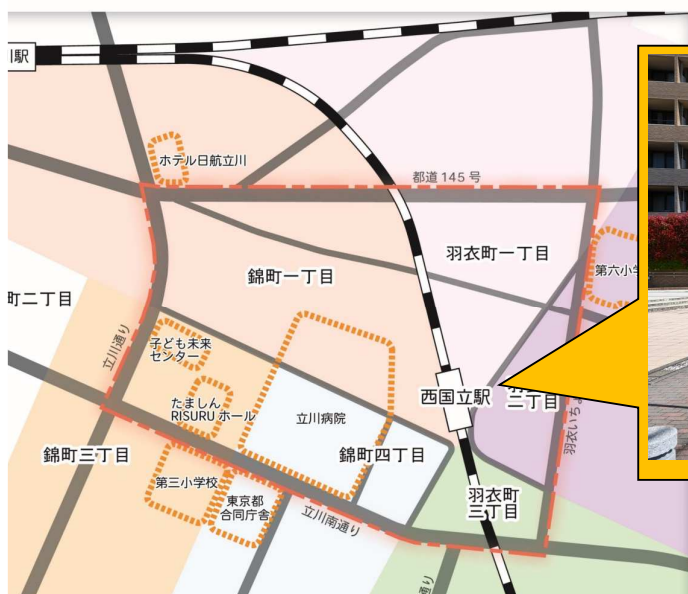
27

(5) 地区の現況

○東側地区

・低層戸建て住宅と大型マンション等の集合住宅、商店、墓
地が混在して立地している。

③大型マンションと墓地



28

○東側地区

- ・歩道が設置されていない。



31

4 意見交換

4 意見交換

まちづくりの課題

ここが問題！ 改善すべき！

まちづくりへの期待

こういうまちになってほしい！

確認したい・聞きたい

まちづくりに関する質問など

西国立駅周辺まちづくりについて
ご意見・ご質問をお聞かせください

33

5 今後の予定について

○スケジュール案

時期		内容	
令和2年	7月下旬	第1回	・連続立体交差事業とは ・まちづくり構想とは ・地区の現況と課題について
	10月上旬	第2回	・まちづくり構想の方向性について ・駅前広場とアクセス道路について
	12月中旬	第3回	・まちづくり構想(素案)について

34



6 閉会